

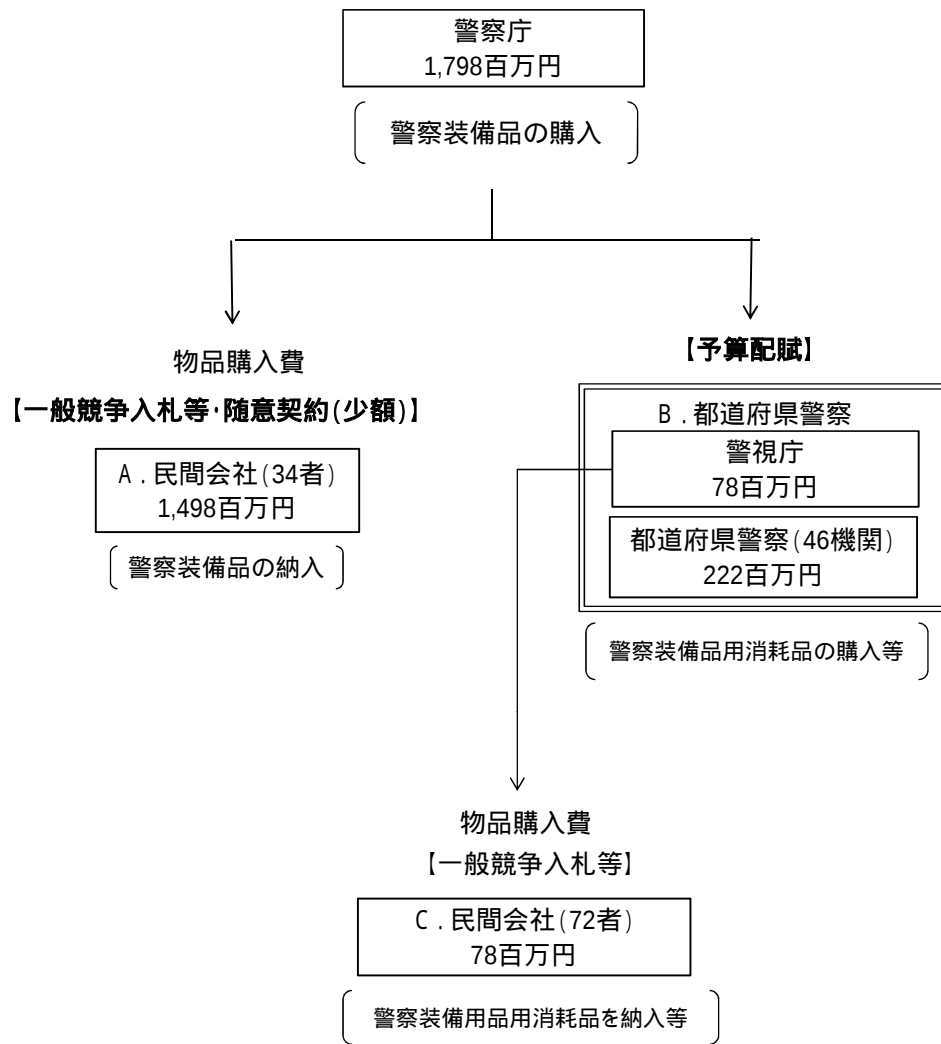
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	警備装備品の整備	担当部局庁	長官官房	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	会計課装備室	装備室長 家永 宏之				
会計区分	一般会計	施策名	複数政策(1～7)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察装備品を国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	有事即応体制を保持する常設部隊たる機動隊、ハイジャック等重大テロ事案発生時に事態の鎮圧等に当たる特殊部隊(SAT)、生物化学テロ発生時に被害者の救出・救助等に当たるNBCテロ対応専門部隊、大規模災害発生時に都道府県警察の枠を超えて被災者の救出・救助に当たる広域緊急援助隊等による警備活動に必要な警備装備品の整備を図る。							
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	922	1,053	1,730	360	1,612	
		補正予算	996	2,678	636	2,758		
		繰越し等	0	0	288	576		
		計	1,918	3,731	2,078	3,694	1,612	
		執行額	1,758	3,286	1,798			
		執行率(%)	92%	88%	87%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 警察活動に必要な警備装備品の整備		成果実績	実施件数 (暦年)	8,172	7,445	7,312	-
	(参考指標) 治安警備実施件数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	整備した警備装備品の種類		活動実績 (当初見込み)	種類	58	86	42 (42)	- (24)
単位当たりコスト	1,798,314千円/年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	物品購入費	360	1,612	平成23年度当初予算要求分の一部が平成22年度補正予算により容認(前倒し)されたため、平成24年度要求分が増加したもの。 なお、平成24年度概算要求を行うに当たって、整備計画の延伸による調達数の見直しや要求単価に前年度実績単価を反映させることにより、要求額の削減を図った。				
	計	360	1,612	東日本大震災復興関連事業(266百万円)				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警備装備品は、警察庁において一括調達しているので、支出先については把握している。 また、都道府県警察に予算配賦しているものについては、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先については把握している。		
	2 見直しの余地 警備装備品は、テロや大規模災害が発生した際の警備活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警備装備品の更新や、治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。 また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の検討を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに、競争性、経済性、透明性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行っており、今後とも効率的な予算執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1	支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
	2	改善策の内容及び横断的見通しの状況に関する所見 平成24年度予算概算要求に当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算の削減に努めること。	
	3	レビューシートのわかりやすさに関する所見 おおむねわかりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度概算要求を行うに当たって、整備計画の延伸による調達数の見直しや要求単価に前年度実績単価を反映させることにより、要求額の削減を図った(削減額: 4百万円)。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.株式会社トーヨーユニ			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入費	プロテクタ等の購入	107			
	計		107	計		0
	B.警視庁			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	予算配賦	警備装備品用消耗品の購入等	78			
	計		78	計		0
	C.エア・リキード工業ガス社			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入費	液化窒素の買入れ	4			
	計		4	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社トーホーユニ	機動隊員用プロテクタの購入	107	6	
2	新成物産株式会社	有毒ガス検知器の購入	105	3	
3	櫻護謨株式会社	救助用支柱用具	66	2	
4	イービストレード株式会社	液体検査装置の購入	58	1	
5	株式会社重松製作所	携帯用ガス検知器の購入	53	3	
6	佐藤産業株式会社	出勤服の購入	51	14	
7	株式会社日立製作所	車両下部カメラの購入	48	1	
8	辰野株式会社	災害活動服等の購入	46	12	
9	帝商株式会社	水難救助用救命胴衣の購入	40	3	
10	財団法人矯正協会	防災出勤服等の購入	37	15	

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警視庁	予算配賦	78		
2	北海道本部	予算配賦	71		
3	神奈川県警察	予算配賦	37		
4	大阪府警察	予算配賦	21		
5	愛知県警察	予算配賦	14		
6	福岡県警察	予算配賦	13		
7	千葉県警察	予算配賦	11		
8	新潟県警察	予算配賦	11		
9	長野県警察	予算配賦	7		
10	山口県警察	予算配賦	7		

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エア・リキード工業ガス株式会社	液化窒素の買入れ	4	3	
2	個人A	ドックフード外3種の買入れ	4	1	
3	ノーベル工業株式会社	広域監視台の買入れ	4	2	
4	日本特装株式会社	耐刃手袋外3種の買入れ	4	4	
5	株式会社セコインターナショナル	強化ゴーグル外6種の買入れ	4	2	
6	櫻護謨株式会社	携帯型大光量ライトの買入れ	4	4	
7	株式会社イタクラ	寒冷地用アウターウェアの買入れ	4	5	
8	加賀ソルネット株式会社	金属探知機の買入れ	2	2	
9					
10					

警 備 装 備 品 の 整 備

緊急事態への対処態勢の強化に必要な
装備資機材の減耗更新及び増強整備を行うもの

機動隊個人装備品



機動隊訓練状況

重大テロ対策用資機材



SATの訓練状況

NBCテロ対策用資機材



NBCテロ対応専門部隊

銃器使用テロ対策用資機材



銃器対策部隊

大規模災害対策用資機材



広域緊急援助隊